

◆マリンカレッジ

漁業体験学習（底魚一本釣り）

「石巻落とし漁法体験」

宮古支庁農林水産整備課 長嶺 巖

1. 目的

池間島は明治、大正時代からカツオ一本釣、底魚一本釣漁業が盛んな漁村であった。カツオ一本釣は乗組員の不足、魚価の低迷などで廃業が相次ぎ現在は底魚一本釣のみが島の漁業を支えている。

今回は島の伝統漁法である「石巻落とし漁法」を体験することによって池間島の漁業を理解し、生徒の健全育成と後継者育成を図ることを目的に少年水産教室を実施した。

2. 対象

池間中学校生徒26人（1年生～3年生）を対象に、男子生徒は底魚一本釣「石巻落とし漁法」体験、女生徒は池間漁協女性部が経営するレストラン「ナカジャ」で魚料理体験を行った。

3. 開催日時

日程：平成20年7月28日

午前8時～午前12時 底魚一本釣体験

午前9時～午後1時 魚料理体験

4. 協力

宮古地区漁業士会 伊良波 進指導漁業士
池間漁協女性部

5. 内容

（1）底魚一本釣漁業体験

午前8時池間漁協前に池間中学生徒全員集合し、校長先生や指導漁業士から激励のあいさつがあり、男子生徒14名、先生2名は、吉進丸（13トン）に乗り込んで、

広大なサンゴ礁が広がる八重干瀬海域漁場に向け出航した。

午前9時に漁場に到着、伊良波指導漁業士から漁具の制作指導を受け漁具を作り早速、伝統の石巻漁法に挑戦した。

石巻漁法はオモリの代わりに約300g程の石（石灰岩を砕いたもの）を用い、その石に撒き餌を乗せて先糸のナイロンテグス巻いて糸止めをしてから海中におろす。海底に石が着いたら1m程揚げて、シャクリを入れて石を外し、釣り餌と撒き餌が一緒に動くように仕掛ける。

対象魚は、アカジンなどのハタ類、マチ類、タイ類などの高級魚をねらう。

体験漁場の水深は60mでハタ類が多い漁場にアンカーを入れた。

午前9時30分から体験漁業開始。

指導漁業士の指導が適切でハタ類が次々に釣れて中学生達は漁法の効果に驚いていた。中にはお父さんと一緒に夏休みに漁に行く中学生もいて将来は漁師になりたいと決意を込めて釣っていた。

午前11時20分体験終了し12時10分池間漁港に入港した。

（2）魚料理体験

入港後早速、女子生徒も一緒に船上で釣った魚を、刺身や、煮付け、味噌汁用に解体し、女生徒がレストラン「ナカジャ」に運んで女性部の皆さんと料理に挑戦。

さすが、漁村の中学生で料理体験や盛りつけも手際よく、先生方が習う方に回った。

午後1時30分から魚料理を囲んで、伊良波進指導漁業士が「池間島の漁業の歴史について」講話を行い、その後各生徒から体験発表を行った。アカジンを釣った山口君は将来漁師になる決意を話すなど全員が体験談を話し大いに盛り上がった。

①出港前



④90分の釣果は大漁



②漁場に到着後伊良波進指導漁業士から石巻落とし漁法の指導を受ける。



⑤寄港後全員で魚の解体に挑戦。さすが池間の子供達。



③大きなキビレハタを釣り上げる。



⑥女生徒が料理した、モズク、アーサテンプラ、魚料理を食べて体験感想を各自報告

